

2025 年度 緑ヶ丘中学校 学校部活動運営方針

1. 目的

中学校学習指導要領を指導の基本とし「三重県部活動ガイドライン」に基づき、以下の目的が達成されるよう部活動指導に取り組む。

- (1) 心身の健全な発達と個性の伸長を図る。
- (2) ねばり強く最後までやり抜く精神力を身につける。
- (3) 集団の一員として望ましい態度を身につける。

生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。学習指導要領 第1章総則 第5の1・ウより

2. 活動日および活動時間

(1) 平 日

活動時間について

○ 開始（帰りの学活終了後）

10月中旬～1月（冬時間）	平常	15：40～	短縮の場合	15：30～
それ以外の期間	平常	15：55～	短縮の場合	15：40～

○ 終了（スクールバスに対応）

10月中旬～1月（冬時間）	16：20終了	16：30完全下校
それ以外の期間	16：50終了	17：00完全下校

- ・ 2時間以内の活動とする
- ・ 活動には、必ず顧問又は教員が指導に当たる。
- ・ バス通学生以外の生徒は、バスが出発するまでに下校する。
- ・ 毎週、平日1回の「ノー部活動デー（原則水曜日）」を実行する。早朝練習も行わない。
- ・ 大会等で土・日に部活動を実施した場合は、翌週平日の「ノー部活動デー（原則水曜日）」を除く、平日に部活動を実施しない日をもう1日設ける（原則月曜日とする）。

(2) 休日および週休日（長期休業期間を含む）

活動時間について

- ・ 基本的に土曜日に実施する。
- ・ 計画的に行ない、長時間に及ぶ活動は行わない。
- ・ 顧問は、前月の25日までに翌月の「部活予定表」を作成し、生徒及び保護者に配付し、連絡を徹底する。（適宜、部活黒板に内容・活動先等を記入するなど部活黒板も活用する。）
- ・ 顧問が到着してから活動を開始する。
- ・ 大会等に参加する場合は、生徒の安全面等を考慮した上で、祝祭日を含め土・日両日の活動を認める。その場合、校外での活動を含めて事前に学校長に申し出る。
- ・ 練習試合については、遠距離の学校、回数等を精選する。
- ・ 地域の行事・家族の計画がある場合は、そちらを優先する。

(3) テスト期間中の部活動について

- ・ 中間テストは3日前、期末テストは1週間前から活動を停止し、学習に専念する。
- ・ 早朝練習については顧問が校長に申し出て、校長が判断する。

3. 活動上の諸注意

(1) 健康面への配慮

- ・ 活動中の水分補給に十分配慮して指導する。
- ・ 気温や湿度に気をつけ、生徒の体調変化に常に注意して指導に努める。

(2) 生活規律に関して

- ・ 部室・更衣室・器具庫等の自主的管理
 - ・ 戸締まり、消灯、施錠の徹底。整理整頓を心がける。
 - ・ 部活動のための更衣、または用具等の保管に利用する。
- ※部室のカギは、顧問が責任をもって管理する。（早朝練習についても同様）

4. 部活動の変更について

都合により転部を希望する場合は、本人の意思を尊重しつつ、旧顧問・新顧問・担任との話し合いを持ち、認められる場合は許可する。

5. キャプテン（部長）会議について

必要に応じ、随時行う。

6. 開設部活動と活動場所及び2025年度顧問

	部活名	主な活動場所	顧問
1	陸上競技	グラウンド	川西・服部・隠岐
2	バスケットボール男子	体育館	澤・鈴木
3	バスケットボール女子	体育館	竹森・上坂・加藤
4	サッカー	グラウンド	山本・山形
5	バレーボール女子	体育館	谷本・岡田・山下
6	卓球男子	体育館	田中・眞名井・赤塚
7	卓球女子	体育館	山本め・野山・菅野
8	ソフトテニス男子	テニスコート	小林・鎌田・小川
9	ソフトテニス女子	テニスコート	寺本・山本も
10	軟式野球	グラウンド	大西・加藤ひ・野村
11	吹奏楽	音楽室	喜多・中島・中川
12	科学	パソコン室	藤森ひ・中村・北村・沖田
13	美術	美術室	井之川・市原 山川・藤森て
14	ヒューマンライツ	教室	井之川・喜多・北村 小林・服部・山本め